

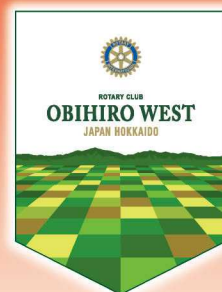


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2376回例会

# 会報

## 2022.2.3



■RI第2500地区スローガン■

ロータリーの素晴らしさを  
広めましょう

■クラブ・テーマ■

覧古考新～感謝と恩返し～

### 会長報告

小谷 典之 会長

#### 心臓の検査

一昨日、年に一度自院で自らの検診のためCT検査をしたところ、心臓周囲に石灰化を認めました。心臓の筋肉に酸素と栄養を運ぶ冠動脈の石灰化だとすると心筋梗塞を起こす可能性があります。そこでゴルフ仲間でもある国立療養所帯広病院の〇先生に電話したところ、午後から暇なんで検査しましょうとのこと。



我々が医者になった頃の冠動脈造影検査と言えば足の付け根の皮膚を切開し、大腿動脈から細いカテーテルを挿入し、大動脈から心臓までカテーテルを進め、冠動脈の入り口にカテーテルの先端を固定し造影剤を注入するという大掛かりな検査でした。検査中徐脈になったり、不整脈が出て血圧が下がるなど危険な検査でした。

医学の進歩はめざましく、現在は冠動脈CT、何の痛みもなく造影剤を点滴するだけで冠動脈がきれいに造影されます。結局、冠動脈には狭窄部位はなく、大動脈弁の石灰化のみで心機能も異常なしと診断されました。

年に一度は全身のCT検査を受けられることをお勧めします。

ちなみにヒトの心臓の寿命は20～23億回の心拍と言われてます。過激な運動やストレスで心拍数を増やすと心臓の寿命は短くなりますので気をつけましょう。

### 会務報告

工藤 正宏 幹事

二月の結婚祝いと誕生祝は改めてお顔を拝見させていただきながら例会の中で行わせていただきたいと思いますと考えております。2月8日の5RC+芽室RC、音更RCの合同例会は中止となりましたので来週の例会は休会となります。



- ①2月8日(火)開催の帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会は中止になりました。
- ②帯広南RC、2月14日(月)まで、例会は休会と致します。
- ③帯広東RC、2月8日(火)まで、例会は休会と致します。
- ④帯広RC、2月9日(水)まで、例会は休会と致します。
- ⑤帯広北RC、2月11日(金)まで、例会は休会と致します。

### ニコニコ献金

岡田 英樹 親睦活動委員長

伊藤 公康 会員増強委員長

本日担当例会です。よろしくお願ひします。



岡田 英樹 親睦活動委員長

ニコニコ発表させていただきましたので、献金いたします。

ニコニコ	2月3日	4,000円
献金	累計	383,000円 (2月3日現在)



会長 小谷 典之  
幹事 工藤 正宏

副会長 田中 耕吾  
副会長 谷脇 正人

会場監理事 天野 清一  
プログラム委員理事 立崎 貴之

発行：広報委員会  
委員長 郷 誠一 (副)山口 貴可



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



## 「会員増強物語」



皆さんこんにちは、会員増強委員長の伊藤です、本日はどうぞよろしくお願いたします。

本年度、会員増強委員長をお受けしたのはいいのですが、ロータリーのことをいまだによく理解できていない若輩者の私が、ロータリークラブに新会員を勧誘するなんて大変おこがましいことだなあと今更ながらに感じております。また、会員増強についてお話することも同じです。

というわけで、今回はクラブが創立されてから50年目を迎える本年度までの会員増強の歴史について振り返ってみようと思ひ、過去のクラブ活動計画書を拝見させていただきました。自分が初めて認識したことなどをいくつか抜粋して発表させていただきます。改めて皆様と共有できれば幸いです。

1972年2月24日に帯広RCから11名、帯広北RCから8名が移籍、新たに12名が集い、総勢31名により設立されました。翌年には43名、翌々年には47名の会員になりました。この年に酒井会員が36才で入会されています。今年で49年目を迎えることになります。

1974～1975（昭和49年度）の活動計画書で初めて会員増強委員長のお名前が記載されました。委員長方針を紹介します。（尾崎二郎委員長）クラブ運営を円滑にするため、ロータリー活動を拡大する為に会員増強するとあります。

できたばかりのクラブですので、会員一人一人が会員増強を意識していたことがわかります。他に職業分類委員会と会員選考委員会があり、それぞれ委員会が協調し、グループで話し合いながら適格な会員を推薦し、計画的に会員増強に取り組んでいたことが伺えます。

その後少しずつ会員数が増えていき、昭和58年度に初めて80名になっております。その後70名台で推移し、平成元年度には帯広南RC創立により、5名の方が移籍しております。

翌年の活動計画書から、会員増強委員会の活動実績報告書が記載されるようになりました。その後、平成2年度に11名、平成3年度に12名の入会があり、創立20周年を迎えた年度期末には89名に達しました。おそらくこの時期に一番会員数が多かったのだと思います。

2000年代に入ると経済不況と社会環境の変化により退会者が少しずつ増えてくるようになります。この頃から活動計画のなかに退会防止についての文言が盛り込まれるようになります。

創立30周年を迎えた平成13年度からは会員選考委員会がなくなりました。会員数減少により委員会

の統合がなされたのではないのでしょうか。

翌年平成14年度期末には63名まで減少しております。平成16年度には当クラブ初めての女性会員の入会がありました。この頃から夜間例会を通じて楽しく有意義な場を設け、会員増強につなげようという試みがなされています。

平成19年度には職業分類委員会がなくなりました。平成22年度期末には58名まで減少しています。創立40周年を迎えた頃から「めざせ80」を合言葉に活動し、年々増加を続け現在の84名に至っています。

岡田さん、深澤会員、佐藤会員は2回委員長をおこなっていることがわかりました。岡田さんが委員長の時は、2回とも会員の減少傾向にあり、大変苦労なされたのではないのでしょうか。

今現在帯広西RCに入会された会員は総勢294名になります。高い志をもって入会した方、仕事上やむを得ないで入会した方、なぜかわからないけど気づいたら入会していた方など、入会理由は様々あると思います。幅広い年齢層の中で多くのことを学び、気づきを与えてくれるロータリークラブに入会できたことは、またとない機会だったなあと実感しております。

酒井会員は、ほぼ全員の会員と関りがあったことになります。これはすごいことです。

創立30周年記念誌に記念フォーラムの内容が記載されておりました。その中の一つに「会員増強か、少数精鋭か」というテーマがありました。当時の小室会長の言葉に「組織という形を考えた時、やっぱり組織の活力、活性化、変化に対応できる、時代がこれだけ激しく変わる時に対応できるということを考えると、やはりこれは増強を図り、不幸にして退会という形、あるいはお辞めになる方達がでてくることであっても、これは団体では避けられないことであるから、会員増強という姿勢だけは崩してはならないと思います。これは一度増強ではなく、質の問題だけで走ってしまっただけでそれが崩れた時には、気が付いた時には再び勢いを戻すには大変至難なことだと思う。増強という思想だけは団体が存続する以上考えの中に入れておかなければならないと思う」とありました。あらゆる組織において、会員増強というは永遠のテーマだと思っております。

もう一つ、退会防止についてです。国際ロータリークラブから会員増強・新クラブ結成推進月間・リソースからの抜粋です。退会の時期と理由を調査したものです。参考までに。

以上、ご清聴ありがとうございました。